

受領 令和3年3月3日9時30分

通告番号 (11) 1/2

令和3年3月3日

読谷村議会

議長 伊波篤 殿

読谷村議会議員

上地利枝子 印

## 一般質問通告書

第505回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨	答弁を求める者
<p>1 交通安全対策について</p> <p>(1) 村道中央残波線歩道への街灯を早急に設置できないか。 健康づくりの一環でウォーキングをする方や、小学生・中学生の通学路になっている。早急に対応して欲しいと村民から声がある。</p> <p>(2) 東門交差点の課題と対策。 大型店舗が開店して交通量が増え、特に朝の通勤・通学時間帯と夕方には交差点付近は危険である。以前から要望している信号機設置の考えはないですか。</p>	
<p>2 読谷村地域防災計画から</p> <p>(1) 避難所の運営管理。</p> <p>ア 避難所生活。避難所における情報の伝達、食料、水等の配布、清掃等については避難者、村民、自主防災組織等の協力が得られるよう努めるとありますが、村内33箇所にある避難所での具体的な取り組みと運営体制はどの様になっているか。</p> <p>イ 避難所の環境整備。避難所における貯水槽、井戸、仮設トイレ、マット、通信機器のほか、高齢者、障がい者、乳幼児、妊産婦等の要配慮者に配慮した避難の実施に必要な施設・設備の整備に努めるほか、その運営にあたっては、プライバシーの確保及び男女の違い等に配慮する。とありますが、具体的な取り組みについて伺います。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>3 重層的支援体制整備事業の取り組みについて</p> <p>(1) 本村が取り組んでいる支え委員会、村内 24 自治会に設置済みですが、今後読谷村社会福祉協議会との連携が重要になってくると思いますがどの様に考えていますか。</p> <p>(2) ワンストップ相談体制についてはどのように取り組んでいくのか。</p> <p>(3) コロナ禍における生活福祉資金の貸し付け状況と高齢者のひきこもり、認知症対策についてどのように取り組んでいますか。</p> <p>(4) その拠点である読谷村総合福祉センターが築 40 年余りになっていると思いますが、耐震はどうなっているのか伺います。</p>	
<p>4 男女共同参画社会の現状</p> <p>(1) 読谷村職員の男女比率はどうなっているのか。</p> <p>ア 正職員の人数 男性 女性</p> <p>イ 管理職人数 男性 女性</p> <p>(2) マスコミ報道による沖縄県内地方公務員の管理職に占める女性比率によると、読谷村の女性管理職、9.1 パーセントとの報道ですが、県内 41 市町村では、2020 年 14 パーセントになっている。各市町村女性の管理職登用を積極的に掲げている。女性管理職登用については、女性が働きやすい環境を整える首長の覚悟も問われているとのことですが、読谷村長としてどの様に考えていますか。</p>	